

ボルグワーナー、中国で初の iDM ビジネスを開始

- ボルグワーナーが中国で同社初の iDM ビジネスをスタート。同社が提供するソリューションにより、顧客の次世代モビリティを実現
- 最先端のトランスミッション、電気モーター及びパワーエレクトロニクスが一体化されたインテグレートド・ドライブ・モジュール (Integrated Drive Module, iDM)
- グローバルメーカーが推進する自動車のクリーン化、高効率化を後押し

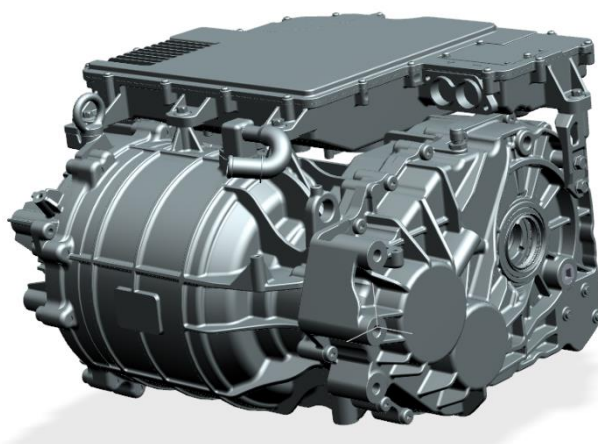
革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/ Frédéric B. Lissalde)は、インテグレートド・ドライブ・モジュール iDM220 を、高級 NEV(新エネルギー車)を手がける中国大手ブランド向けに供給すると発表しました。韓国メーカーへの iDM 供給決定に続き、中国における初の取り引きであり、ボルグワーナーの iDM テクノロジーに対する評価の高さを裏付けるものです。中国での生産開始は 2023 年の第 1 四半期を予定しています。

ボルグワーナーによる設計、開発、製造の iDM220 は高性能電動駆動システムです。動作電圧が 400V となっており、今後生まれると予想される新たな市場ニーズにも対応可能な上、パフォーマンス面でのアップグレードも可能です。高効率モーター・コントローラー技術、受賞歴のあるヘアピン巻線ステータ技術および高度なトランスミッション・システムをスケーラブルかつコンパクトなパッケージに納めており、世界のメーカーが推し進める自動車のクリーン化、高効率化を後押しします。

駆動輪となる後輪にマウントされた iDM220 は、最大 250kW の出力と 5000Nm のトルクを発生します。高度に一体化された構造、高効率、滑らかで静かな動作を提供すると同時に、ヘアピン巻線ステータ・モーター技術により卓越した動力性能を発揮する、極めて機能の高い電動駆動用製品となっています。iDM は、外径 220mm とコンパクトなステーターを備えた電気モーター

ターを採用しており、さらにはギアボックスおよびシリコンベースの 400V 級インバーターとの一体構造となっているため、システム全体の大幅な軽量化と小型化を実現しています。iDM の各コンポーネントは、全てボルグワーナーの技術ポートフォリオに含まれるため、完全に一体化されたモジュール対応、または新エネルギー車 (NEV) 用のソリューションとしての単体対応のいずれも可能です。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士は、「中国を代表する高級 NEV ブランドに、業界をリードする iDM を提供することにより、同社との長年のパートナーシップをさらに拡大できたことを嬉しく思います。新型 iDM は、弊社が顧客に提供するスマートで革新的な、将来性のあるモビリティソリューションの動力源になることが想定されています。カーボンニュートラルの実現という状況下で iDM220 のようなクリーンかつパワフルなソリューションを開発し続け、環境に優しい未来に向けて顧客の皆様とより一層継ぎ目なく連携して行きます」と述べています。



ボルグワーナーが中国で同社初の iDM ビジネスをスタート

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース (以下、本「リリース」) に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務

の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の2019年12月期のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020年10月1日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、当社とAKASOL AGとの間で提案されている取引が完了しない可能性、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の不実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近のForm 10-Kの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp